

## 社会の高度化・複雑化に応える5つの研究科と1つの専門職大学院

### **社会文化創造研究科** <https://www-cssc.yamagata-u.ac.jp/examination/>

グローバル化が進む現代社会において、日本の地方では人口減少が進行し、地域の活性化や文化の維持などが大きな課題となっています。社会文化創造研究科は、これらの課題を解決するために、新たな価値(社会的価値、文化的価値(芸術・スポーツ科学を含む)、心理的価値など)を内包する解決策について創造的・実践的に追及することを「社会文化創造」と捉え、その実現を目指します。

本研究科は社会文化創造専攻の1専攻から構成されており、この専攻の下に、社会文化システム、臨床心理学、芸術・スポーツ科学の3コースが設置されています。さらに社会文化システムコースと芸術・スポーツ科学コースにはそれぞれ3つの教育プログラムを設け、これまで培ってきた教育研究の強みに基づいた体系的教育をさらに充実させています。人文科学、社会科学、臨床心理学及び芸術・スポーツ科学を核にしなが、人間社会を「社会」と「文化」の関係から捉え直し、地域的な展開を新たに創造・実践できる人材を育成します。

### **医学系研究科** <https://www.id.yamagata-u.ac.jp/daigakuin/nyushi.html>

医学専攻は、医学を広く修め、専攻領域における高度の研究能力と豊かな学識を備えた医学研究者を育成するとともに、将来の指導的役割を果たす人材を育成します。

先進的医科学専攻では、重粒子線治療研究開発を中心とした放射線医学研究、ゲノムコホート研究、創薬研究等を集中的に実施し、重粒子線の専門家、臨床研究に貢献する生物統計学の専門家等の多様な人材を育成します。

看護学専攻の前期課程は、看護の現象を論理的かつ体系的に説明でき、看護研究を推進できる基礎能力を有する看護学教育・研究者、高度専門職業人の育成を目指します。また、平成29年度からナースプラクティショナー教育課程を設置し、在宅医療・在宅看護のニーズに即した教育体制を整備しました。後期課程は、人々の安全と安心を支え、超高齢化社会に向けて人づくり・システムづくりを促進できる、研究マインドのある自立した看護高度専門職業人の育成を目指します。

### **理工学研究科**

基礎と応用の融合を図るため、理学研究科と工学研究科を統合する大学院として設置されています。

#### **【理学系】** <https://www.sci.yamagata-u.ac.jp/examination/graduate/>

理学系では、前期課程には理学系のコアサイエンスを基盤として、総合的で学際性を有する高度な知識を教授します。これによって、柔軟な発想のできる広い視野と豊かな基礎学力を持ち、急速な社会の変化と科学技術革新に対応できるとともに、研究開発や生産現場等で指導的役割を担うことのできる専門的職業人及び科学技術を養成します。後期課程は人間の諸活動と自然環境との調和の観点に立ち、自然科学の深い基盤と学際・複合領域における高度で先端的な知識を教授し、柔軟な総合力と独創性豊かで高度な自然科学の研究能力を備えた科学者・技術者を養成します。

#### **【工学系】** <https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/admission/graduateschool/guidelines/>

工学系では、前期課程は広い視野に立ち、精深な学識を養い、専攻する分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備えた人材を育成するための修士教育を目標に掲げ、多くの優れた修了生を輩出しています。後期課程は、グローバル化の進む中、専攻分野における研究者として自立し、世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事するために必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って社会に貢献する人材を育成し、豊かな生活を築き、栄えある未来の創造に寄与しています。

**有機材料システム研究科** <https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/admission/graduateschool/guidelines/>

有機材料システム研究科は、現代社会を支える重要な材料群の1つである高分子材料、機能性有機材料等の有機材料に関する基礎から応用に至る知識を単に修得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とする研究科として、平成28年4月に新たに設置されました。前期課程は、広い視野に立ち、精深な学識を養い、有機材料システム分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備え、情報をグローバルに発信できる人材の育成を目指します。後期課程は、有機材料システム分野における研究者として自立し、世界に通用する高度で専門的な研究・教育に従事するために必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って、国際的視野に立って技術・学術の発展及び社会貢献に寄与する人材の育成を目指します。

**農学研究科** <https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/exam.html>

農学研究科は、より適切な教員陣による指導ができるよう、農学専攻の1専攻とし、豊かな人間力、食料・生命・環境科学にかかわる幅広い知識と、生物生産学、生物資源学、生物環境学の領域における深い専門性を身につけ、また、ハノーバー大学とのダブルディグリープログラムなどを用意し、国際社会や地域社会の課題解決のための創造力を豊かに発揮できる人材の育成を目指します。

**教育実践研究科** <https://www.e.yamagata-u.ac.jp/gstt/applicants.html>

教育実践研究科は、高度な専門性を身に付けた教員を養成する専門職大学院です。①学部卒の学生を対象に、より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員を養成すること、②現職教員を対象に、地域や学校における指導的役割を果たしうる確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダー(中核的中堅教員)を養成すること、以上の2つを主な目的としています。「学校力開発分野」「学習開発分野」「教科教育高度化分野」「特別支援教育分野」の4分野があり、入学後に希望に応じて分野を選択します。

## 検定料・入学料・授業料

検定料 : 30,000 円(出願時に納付していただきます。)

入学料・授業料 こちらをご確認ください。<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/fee/fee/>

※進学等の場合は検定料が免除となる場合があります。詳しくは募集要項をご確認ください。

## 学生募集要項公表時期

研究科	課程	公表時期 (主なもの)
社会文化創造研究科	修士課程	R4. 6
医学系研究科	博士課程	R4. 4※1
	博士前期課程(先進的医科学専攻)	R4. 4※1
	博士後期課程(先進的医科学専攻)	R4. 4※1
	博士前期課程(看護学専攻)	R4. 8※1
	博士後期課程(看護学専攻)	R4. 4※1

理工学研究科(理学系)	博士前期課程	R4. 4
	博士後期課程	R4. 6
理工学研究科(工学系)及び 有機材料システム研究科	博士前期課程	R4. 5
	博士後期課程	R4. 6※2
農学研究科	修士課程	R4. 5
教育実践研究科	専門職学位課程	R4. 6

公表する募集要項や詳細は、各研究科のホームページをご確認願います。

※1 第2次募集, 第3次募集を実施する場合, 第2次募集は8月, 第3次募集は12月に公表予定。

※2 理工学研究科(工学系)については, 7~8月を予定しております。

## 大学院に関するお問合せ・学生募集要項請求先

学生募集要項の入手方法, その他入試に関する詳細については, 各研究科の入試担当にお問合せください。

内容	担当部署・住所	電話番号
社会文化創造研究科 (社会文化システムコース) に関すること	山形大学小白川キャンパス事務部入試課 人文社会科学部担当 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	023-628-4207
社会文化創造研究科 (臨床心理学コース) (芸術・スポーツ科学コース) に関すること	山形大学小白川キャンパス事務部入試課 地域教育文化学部担当 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	023-628-4310
医学系研究科 に関すること	山形大学医学部入試担当 〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	023-628-5049
理工学研究科(理学系) に関すること	山形大学小白川キャンパス事務部入試課 理学部担当 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	023-628-4710
理工学研究科(工学系)及び 有機材料システム研究科 に関すること	山形大学工学部入試担当 〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	0238-26-3013
農学研究科 に関すること	山形大学農学部入試担当 〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	0235-28-2808
教育実践研究科 に関すること	山形大学小白川キャンパス事務部入試課 地域教育文化学部担当 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	023-628-4310